
解説！LINE bot開発

— @linedc —

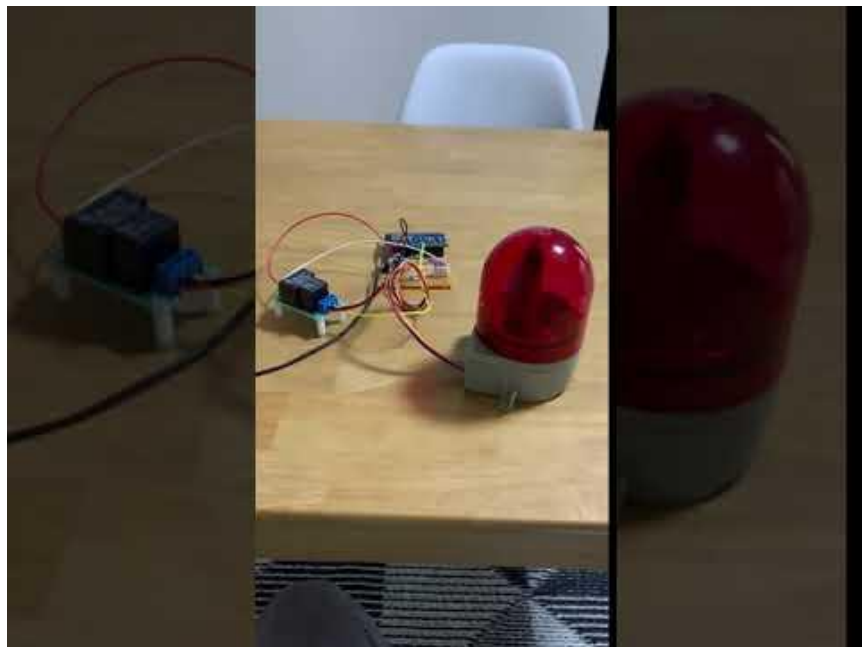
自己紹介

- Twitter
 - [@ufoo_yuta](#)
- Qiita
 - [ufoo68](#)
- 所属
 - 株式会社ACCESS
- やってること
 - [スポーツIoTTLT主催](#)
 - [LINE API Expert](#)



私とQiita

私のLINE APIで遊んだ記録はだいたいQiitaで書いてました



初めて書いた記事

[「LINE Thingsでパトランプを回してみた」](#)

今日の内容

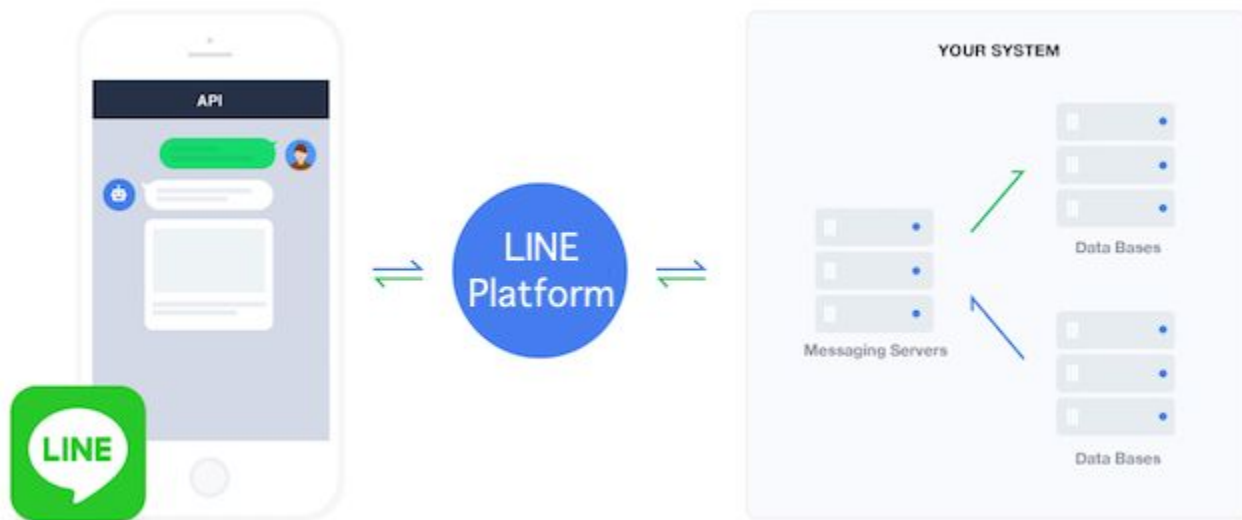
昔書いた記事について、もう少しLINE botについて解説します！



知識が浅かった頃にしたものなので、色々と雑なことを書いているところが多々ありました。
でもなぜか一番LGTMもらっているのはこの記事なんですよねえ

LINE botってどうやってつくるの？

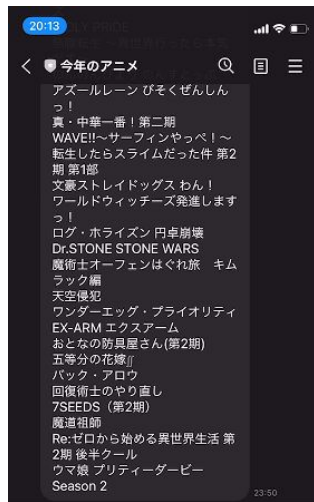
Messaging APIで作れる！



<https://developers.line.biz/ja/docs/messaging-api/overview/>

Messaging APIをどうやって使うの？

今年のアニメを教えてくれるLINE botを例に見ていきましょう！



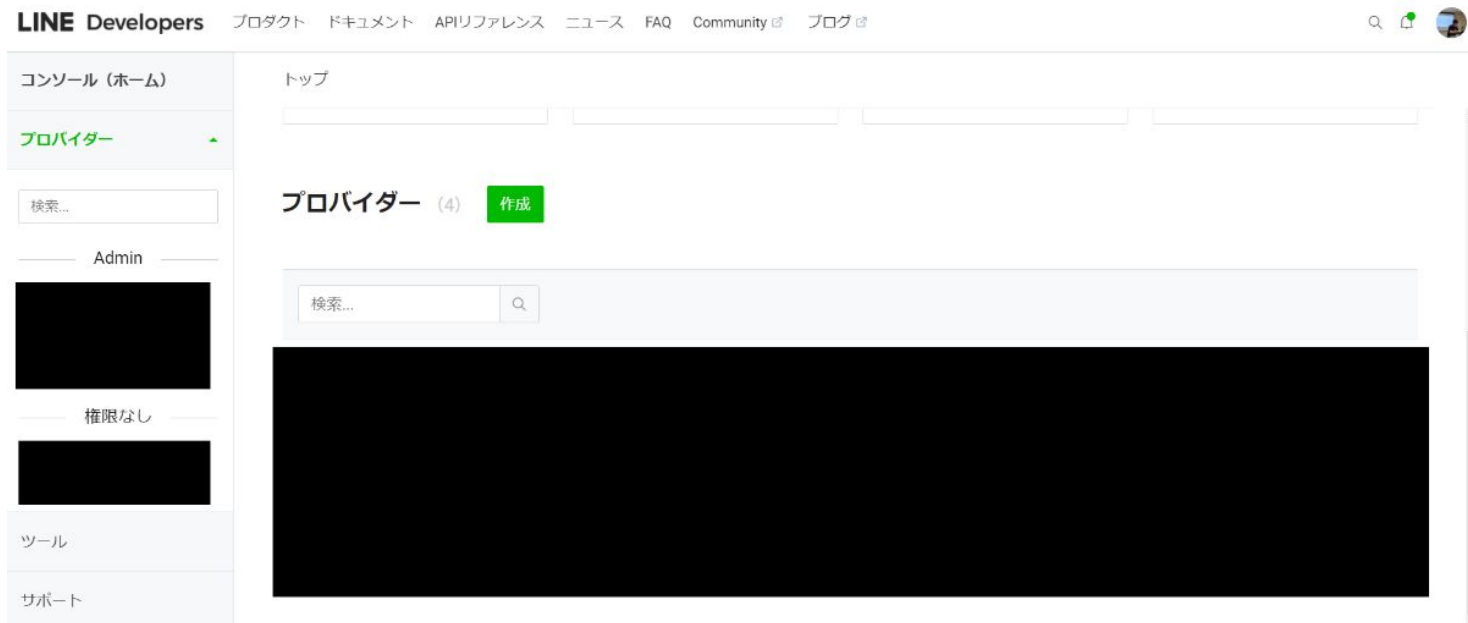
「今年のアニメは？」というメッセージを LINE トーク画面に送ると、今年放送予定のアニメを教えてくれる。そんなbotです。

今年のアニメは？



まずはDevelopersサイトに登録しよう

ログインをしたらこんな感じのコンソール画面がでてきます！



プロバイダを作成してチャネルを作る

プロバイダはアプリをつくるためのフォルダ、チャネルはアプリそのものとイメージするとわかりやすいと思います

新規プロバイダー作成

プロバイダー名 ②

-

✖ 入力必須項目です

✔ 特殊な文字（4バイトのユニコード文字）を使用しないでください

✔ 100文字以内で入力してください

キャンセル

作成

チャネルの種類を選択してください



LINEログイン



Messaging API



CLOVAスキル



ブロックチェーンサービス



LINEミニアプリ

必要情報を記入します

ここはLINE botのアイコンとか説明文とかを書きます


トップ

プロバイダー

入力必須項目です

チャンネルアイコン

任意



登録

対応ファイル形式: PNG, JPG, JPEG, GIF, BMP

ファイルサイズ: 3 MB以内

チャンネル名

注意: チャンネル名は、7日間は変更できません。

入力必須項目です

特殊な文字 (4バイトのユニコード文字) を使用しないでください

トップ

チャンネル説明

入力必須項目です

特殊な文字 (4バイトのユニコード文字) を使用しないでください

500文字以内で入力してください

大ジャンル

入力必須項目です

小ジャンル

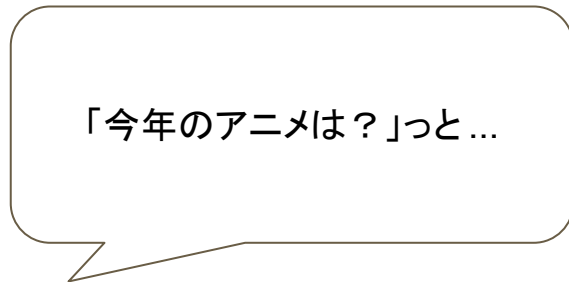
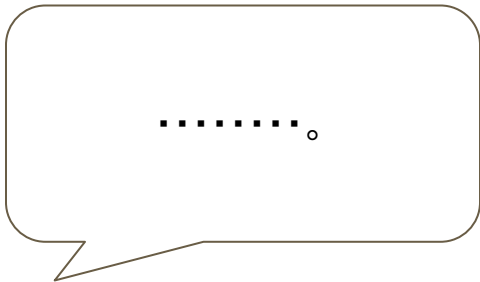
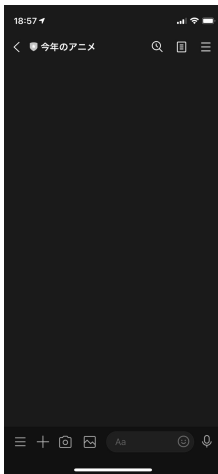
入力必須項目です

メールアドレス ①

入力必須項目です

実はLINE botはこれで完成です

しかし今の状態ではメッセージを受け取ることはできても、返すことはできない



まずはLINE Official Account Managerを開く

応答について設定する



応答設定

基本設定



Messaging APIを使いたい場合は
Botモードを選択

詳細設定



応答メッセージをONにすると設定画面から定型
文を返すBotが設定できる(しかし Messaging
APIを使う場合はOFFにする)



改めてMessaging APIについて

アプリケーションとLINE botとコミュニケーションを繋ぐための仕組み



<https://developers.line.biz/ja/docs/messaging-api/overview/>

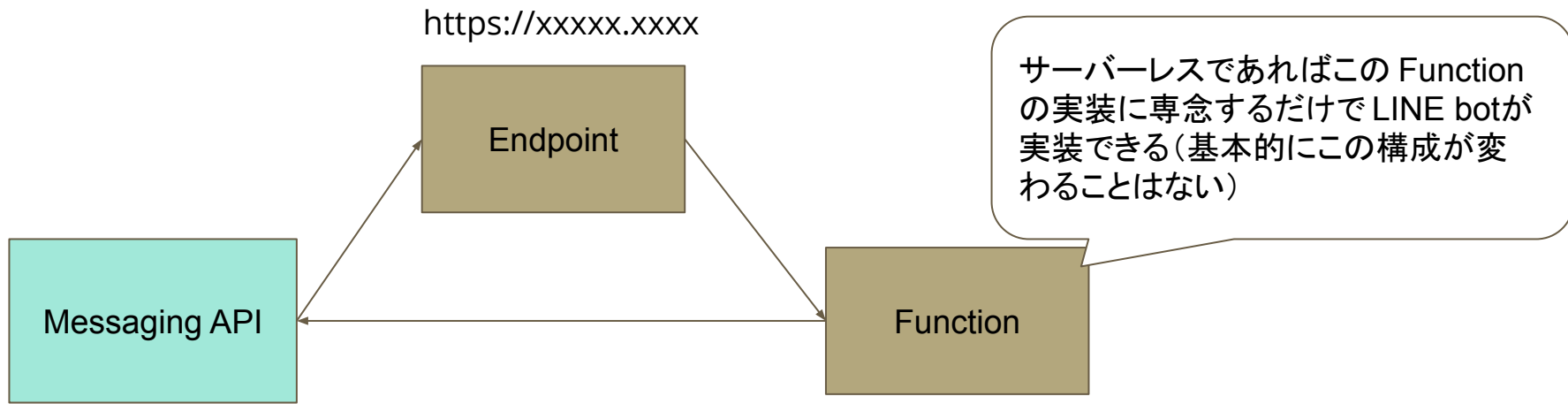
Messaging APIを使うための必要情報

- 以下の情報を設定画面 (LINE Developers & LINE Official Account)から確認・設定する
 - Webhook URL
 - Chanel access token
 - Chanel secret



アプリケーションの実装について

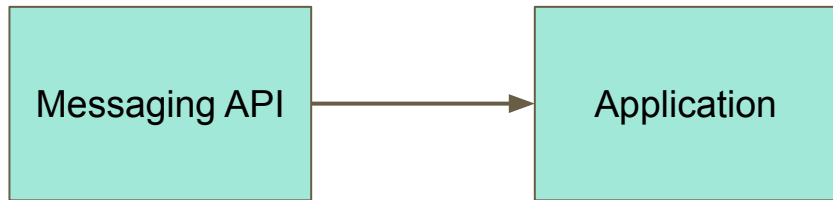
実装にはどんなサービスを使っても良いと思いますが、
サーバーレスなものを使う方が無難だと思います。



コードの実装・・・の前に

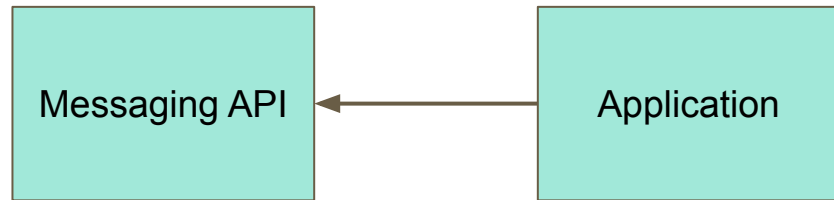
メッセージの送信方法は2通りある

Messaging APIから送られたメッセージを受け取ってから返すパターン



reply message

Messaging APIに直接メッセージを送るパターン(送信数に制限あり)



push message

各メッセージ送信のパターン

JavaScriptの例([公式提供のライブラリ](#)を使用)

- リプライメッセージ

replyMessage(token, message) ←tokenはMessaging APIから送られてきた情報から取得

- プッシュメッセージ

pushMessage(to, message) ←toでMessaging APIが送信して欲しいLINE botを指定

ちなみに、[APIのリファレンス](#)は公開されているので、アプリケーションの実装では好きな言語を選択することもできる

メッセージにも色々な種類がある

- テキスト
- 画像
- 動画
- 音声
- ファイル
- 位置情報
- スタンプ

テキスト→テキストを返すbotの実装例

```
const line = require('@line/bot-sdk')
```

```
const config = {  
  channelSecret: 'xxxxxxx',  
  channelAccessToken: 'xxxxxxx'  
}
```

```
const client = new line.Client(config)
```

```
....
```

```
async function handleEvent(event) {  
  ....  
  if (event.type.message.text === '今年のアニメは?') {  
    const animeList = await getCurrentAnimeList()  
    return client.replyMessage(event.replyToken, animeList)  
  }  
  ....  
}
```

基本的に前処理で書くことはどの LINE botを実装する場合も同じ(そこらへんのサンプルコードをコピーしても良い)

受け取ったメッセージとその内容を元に返信するメッセージを記述(自分で実装を考えるのはここだけ)

実装ができれば

Webhook URLを登録しよう

[トップ](#) > [個人開発](#) > [今年のアニメ](#) > **Messaging API設定**

利用できるAPI ②

- REPLY_MESSAGE
- PUSH_MESSAGE

Webhook設定

Webhook URL ②

https://[redacted].ap-northeast-1.amazonaws.com/prod/

検証

編集


Webhookの利用 ②



友達登録をして動作確認をしよう

QRコードを読み込むと勝手にLINEアプリが立ち上がるはず


トップ > 個人開発 > 今年のアニメ > Messaging API設定

**今年のアニメ**
Admin | Messaging API

チャンネル基本設定 | **Messaging API設定** | LIFF | セキュリティ設定 | 統計情報 | 権限設定


Messaging API設定

ボット情報

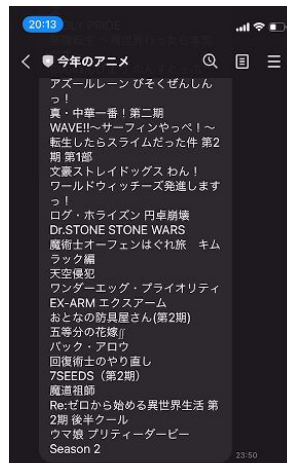
ボットのベシック @959yufn 

ID

QRコード



LINE公式アカウント（ボット）を友達として追加するには、このQRコードをLINEで読み取ります。このQRコードは、他の人と共有できます。



今年のアニメは？



おわりに

- LINE botを作るための仕組みとしてMessaging APIというものがある
- Messaging APIとはLINEアプリと自作サーバーアプリケーションの間のメッセージ交換を繋ぐ役割を持っている
- LINEのメッセージには複数の種類がある(今回はテキストの例を紹介)
- アプリケーションの動作確認は作成したLINE botを友達登録するだけで実行可能
- 具体的な実装は[超絶簡単！LINE bot開発](#)を参照してね